★神戸の集いから

★セリザワ70周年記念パーティ　ファショナブルに……。

神戸らしい高級プレタポルテ専門店として名高い、婦人服飾、紳士服飾のセリザワが、七〇周年を迎えて、十月一日午後五時三〇分よりオリエンタルホテル二階大ホールで、約二〇〇名の招待客を集めてはなやかに記念パーティを開いた。この日を記念してセリザワがファッション時計を神戸市に寄贈、宮崎市長に、芹沢利雄社長が手渡した。堀郁子さんのシャンソンにのせて、ファッションショーを楽しみながらのひとときは、セリザワらしいムードでファショナブルなイメージを盛りあげた。

セリザワ70周年のはなやかなショー

★石彫シンポジウム完成オープン

十月九日、甲山森林公園の石彫シンポジウムが完成。午前十時から坂井兵庫県知事、阪本近代美術館長らを迎えてオープニングした。

制作は七月から三カ月間にわたり、兵庫県彫刻家連盟の作家十四名の大理石作品が完成した。参加作家は、鹿間厚次郎（緑の狩人）桂修（鳥と甲冑）広嶋照道（過密な箱）新谷映子（蛾）田中薫（メビウスだけど）山口昌俔（裸婦）竹内厳（嶽）田中昇（トンボ）谷井信一（胎像）新谷秀雄（群鳥）井上直（二つの台形）丹下春一（山の伝記）北野正治（スカイ）斎藤正視（指向）さん。

石彫シンポジウムのオープニングセレモニー

★30年目の再会！海軍甲種飛行予科練習生十三期生神戸会

九月十三日午後六時、元町の牡丹園本館で海軍甲種飛行予科練習生十三期生神戸会が開かれ、六十人の戦友たちが三十年振りの再会をなつかしんで集まった。

昭和十八年学徒出陣で招集された、当時中学四、五年の練習生は阪神間、姫路加古川から約三千名、高知、台湾、上海などの特攻隊基地配属となり、三千名のうち千名余りは台湾沖や沖縄で戦死。戦死者をいたみ、この会は今後毎年春秋の二回催される。

八世話人・本宮幹敏・神戸大丸前本宮広告社
電話三二一―〇一〇三〉

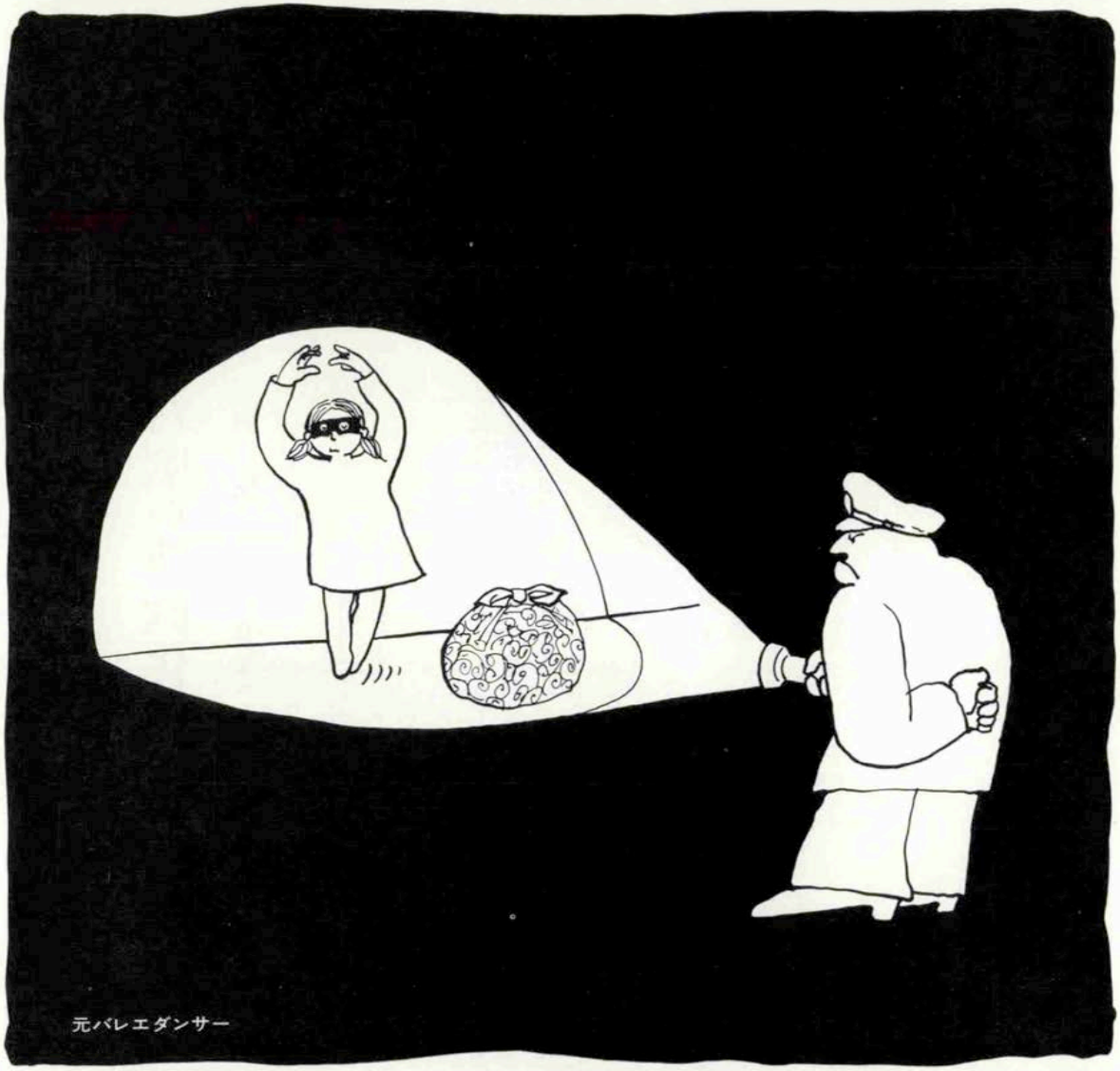
30年ぶりに集まった戦友

パントマイム・ジェンズ

― スポットライトの下で

★岡田　淳

読書好き



元バレエダンサー

淀長立見席 21

舞台劇の映画化

淀川長治〈映画評論家〉

とくにアメリカでは舞台でヒットしたものは必ずといっていいほど映画化する。

「舞台劇」というものが一般家庭の話題になっているからである。それにニューヨークでヒットするとサンフランシスコやロスアンジェルスを皮切りに各州を第二スタッフ（代役）で巡演するので、「舞台劇」は当ればアメリカ全市の話題をさらう。映画がこれを見逃すわけはない。

もっともこれは今に始まったことでなく、活動写真が生まれた一九〇〇年初め、活動写真は市民の信用を得るため全力かけて舞台の当り劇と文豪の小説ばかりを映画化して活動写真の「見る価値」の信用をひろめ、同時にそれらの題材がすでに「宣伝」のきいていることの興行価値をも計算した。

バーグマンとボガードの「カサブランカ」が舞台劇の映画化であること、キャサリン・ヘップバーンの「旅情」が舞台ではおばあちゃん女優のシャーリー・ブースのヒット舞台劇だったこと、オールド・ファンには忘れ得ぬ「第七天国」「キック・イン」、戦争大作「栄光」などもみな舞台劇の映画化だということ。これはすでに御存知であろう。

それでアメリカへ行くとヒット・ミュージカルとヒット・プレイはブロードウェイで心ず見ておくといい。いずれ殆どが映画化されるからである。

最近ではオリヴィエとケインの「探偵」すこしまえの「真夜中のパーティー」それにもっと近くでは「バタフライはフリー」そして日本で正月前後に放つミュージカル「ジーザス・クライスト・スーパースター」。

「バタフライ……」は映画の監督がこの舞台と同じ監督だったので一等席でこの芝居を見ているように良く楽しめるのだが、舞台が映画にまでこなれてはいなかった。昨年これをブロードウェイの舞台で見た私の印象はそうけがされてはいないという程度であった。

問題は「ジーザス・クライスト……」。これもブロードウェイの舞台で見た。その舞台が舞台で果たせる限りの舞台美術（ライト、衣裳、セット、転換、移動、音楽その他）をけんらんとあふらせて実に映画的、しかも映画で果たし得ぬなまの香り、とくにその舞台セット美術はブロードウェイのモダン・アートの極美を示していた。

これにとびついた映画監督のノーマン・ジュイソンはこれの映画化をつかんだもののその美術において舞台には及ぶべくもなかった。

同じくミュージカルの「王様と私」、これもブロードウェイでユル・ブリンナーのを見たのだが、これを映画化したウォルター・ラング監督は「バタフライ……」と同じく舞台から飛躍させないで映画化の安全ベンをとった。しかし「ウエスト・サイド物語」映画化のロバート・ワイズはアメリカ最高のダンス教師ジェローム・ロビ

ンスのダンス・リズムのそのリズムを映画に分解して成功した。

ところで舞台劇映画化の神様はなんといってもウィリアム・ワイラーと申し伝えておこう。古くは「巨人登場」「この三人」「孔雀夫人」「デッド・エンド」「偽りの花園」「女相続人」「探偵物語」「必死の逃亡者」など。そして「この三人」は二十五年たって再び映画化した。

「真夜中のパーティー」を映画化したフリードキンはこの当り劇の舞台役者をそのまま映画にも揃えたので、歩くかっこう、柱に手をもたせる瞬間、クッションをソファーに投げる動作などが舞台そのままのくせがとれなくてほとほと困ったとこぼしていた。

ワイラーはシナリオの段階でその危険を除き、流れるような映画美に変化してしまう。舞台で役者が演じることを、ワイラーはそのセットの鏡や二階へ通じる階段でそれに代える。役者がみえをきる、たとえばゾッとする、その主役の人物の心のゆらぎを映画の中の鏡でワイラーはサッと見せる。階段もまた舞台のさわり、これを階段の一歩二歩の下りるまたは登る、その主人公の心の動きに利用する。ワイラーの鏡と階段はあまりにも有名だが、「この三人」を二十五年目にもう一度「噂の二人」として映画化した。一九三六年の「この三人」のころは舞台では許されたレズが映画では許されずこれが胸につかえの再びの「噂の二人」映画化（一九六一）。憎らしくも三十年前は舞台は一級生、映画はまだ二級生、まだそんな階級差をもっていたものを今は「旅情」など舞台以上の出来。けれども映画は舞台の主役シャーリー・ブースおばさんをせめてキャサリン・ヘップバーンまでに美しく変えねばならぬ。

しかし舞台そのままの「真夜中のパーティー」が評判をとり「噂の二人」が今日では不評だった当今、思えば今さらレズは珍しくもなくなってホモ時代に移ったそれを映画が真正面からとらえ得る時代が堂々とやってきたわけだ。映画と舞台は今やぴたりと肩を組んだ。映画と舞台劇の差はもはやまったくなりつつある。

写真は上から「バタフライはフリー」「真夜中のパーティ」「ジーザス・クライスト・スーパー・スター」

女体百景

《16》

H・ジュニア

え・浅野俊一

眼鏡をかけた青い果実

今月は、眼鏡のよく似合う魅力的な女性について書きましょう。

顔色の冴えない、というより、いわゆる顔色が青白く、首筋、耳たぶ、鼻口、など、肉薄く、よく見ると、抜けるように、すけて見え、体つきも、かげろうのように繊細で、体全体に小作りで、手の指なども、骨ばって、白く細く長く、胸も、在るかなしかに扁平ですが、色気がない訳ではなく、結構、女らしくて、その裸身には、真黒いスイムスーツしか似合いかねるといった、どちらかというと、栄養不良型の眼鏡女性の中にも、それなりの美しい女(ひと)がいるものです。

いとこ同志などの近親結婚の結果、こういう、半ば奇形に属する、いささか頽廃的な美しさを持った近眼女性が、時に、産出されると、いわれています。

遺伝的にも、栄養的にも、発育不良の結果、強度の近眼だったり、乱視だったりすることが多いのです。このような肉体の欠陥のせいか、精神も、一風変った個性と人格を形成している場合がすくなくありません。

一口にいえば、彼女の性格は、分裂症的、二重人格的な場合が多いようであります。

しかし、これらの要素を結合すると、美女の一つの条件である、女の弱々しさ、デリケートさ、などが、一風変った病的に神経質な次元にまで、高められているのですから、こういったパターンの女が、男の食指を動かさない筈はありません。

私の知り合った、このタイプの女の子は、二十四歳で、額の秀でた、それはそれはかげろうのような、美しさと、はかなさを、身につけ、ダイヤ入りの黒い眼鏡が、よく似合っていました。

手を握り、肩を抱くことさえ、彼女は、ガラス細工のようにこわれやすく思われて、はばかられる程でしたが、しかし、私は、長いながい月日をかけて、気ながに、彼女の裸身が、私の胸の中で花開く日を待ちこがれたものです。しかし、考えてみれば、彼女が栄養に充ちみちて、女としても、発育し切ってしまう時、もはや彼女は、男の観賞に堪えないしろものになり果ててしまうでしょう。彼女が、永久に、何歳になっても、発育不良であってこそ、彼女の存在価値があるのですから。

彼女は、小悪魔のように、振舞って、大人の私を、からかいました。

彼女に、始めて愛の告白をした時のことを、私は今でも、はっきり覚えています。

「ゆうべ、君の夢を見てしまったよ！僕は、やっぱり、君にほれてしまったらしい……」

と、冗談半分に、私がいうと

「ほんとうに愛してる人は、そんなこと、口に出していわないそうよ！」

と、彼女は、私のくどき文句を一蹴しましたが、彼女のあの薄く透明な耳たぶが、一瞬ピンク色に染まるのを、

たようです。

「私、好きな人とは、あの世で、一緒になるしかないわ！」

そんなことを、私達の前で、彼女はよく言って、私達のすすめる縁談には、耳を借そうとはしませんでした。二十八歳になって、遠い雪国へ嫁いで行くまでは……。

それから、三年ほどして、秋も深まった或日、突然、彼女から私の勤先に電話があり、

「今からすぐ行くから、是非お会いしたい！」

というのです。

私は、彼女との再会の時間を、どんなに有効に用いたものかと、一人想像をめぐらして、彼女を待ちました。

「お久しぶり！　兄の子供を連れて来ましたの。今兄の処に、泊っているもんですから……。今夜は、こぶつきですのよ……。ほゝゝゝゝ。お怒りになって？　これお土産！」

彼女は、涼しい顔をして、田舎の銘菓をさし出しながら笑って見せました。

和服姿の彼女のうなじは、昔と変らず抜けるように白く、かぼそく、彼女は全く変っていませんでした。

〈やっぱり、彼女は、眼鏡をかけた青い果実なんだ〉

私は、心の中で、そうつぶやいていました。

私は、今でも、時々、彼女の眉毛と恥毛とが、極端に薄かったこと、をふと思い出すのです。

その時、私は見逃しませんでした。

その後、私は、幾度か彼女をドライヴにさそい、デイトしましたが、彼女は、決して、私をそらさず、せかず、さわがず、まるで私の奥様然として、落ちつき、泰然自若としていますので、かえって、手出しするすきを見出し得ないまま、私は、後髪を引かれる思いで、何時も、別れるのでした。

私は、彼女名儀の貯金もしてやりましたし、デイトした時は、必ずといっていいほど、彼女のお母さんに、お土産も持たせて帰しました。

「この間のこと、奥様、御存知ないの？」

と、彼女はわざわざ私の傍へ走り寄って、私の耳元でささやきます。

「もちろん！　秘密！」

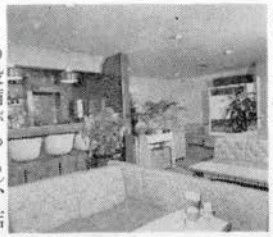
「わかったわ！」

と、うなづくと、彼女は、今度は、私の妻の方へ走って行き、時々、私の方を横目でにらみながら、楽しそうに、妻と何か話し合っているのです。

彼女は、私の妻にも、疑われながら、可愛がられてい

★家庭的雰囲気でくつろげるクラブ〝トキワ〟

クラブ〝トキワ〟がオープンしてから一年余りになるが、この間、家庭的な雰囲気で楽しめる店として親しまれてきている。マスターの谷口昇さんに店の特色をきいてみると、飲んで歌えること（バンド演奏とマイクの設備がある）、店にはママがいない、つまり、女性全員がママとしてお客さんに応待していることだという。そういう店だから宵のひとときを愉快に楽しもうという誰彼によって、店内は連日大いににぎわっている。場所は三宮・生田新道を北へ入った〝花束〟の少し手前、豊村ビル三階。


クラブ"トキワ"

さあ、あなたもクラブ〝トキワ〟で陽気に飲ろう！電話三二一・二二八一～二

★バイキング風居酒屋〝ゴックスタッド〟11月20日にオープン！

山本通り、回教寺院の山側に北欧のバイキング風居酒屋〝ゴックスタッド〟が11月20日午後6時にオープンする。店名はノルウェーのバイキング船からつけたもので、店内は勇壮な男性的ムードに満ちている。なかでも直径一メートルぐらいの兜で焼いて食べる立喰い式の料理はおもしろい。

また自分でも料理をしながら食事を楽しめる所がミソ。柳原良平さんのマッチも船好きの神戸っ子にうけるにちがいない。

「ティファニー」と同じく「ティファーナ」の姉妹店。

営業時間PM6/AM2 年内無休
回教寺院前 電話二四二一〇一三一

★キャンドル特製オイルフォンデューはいかが？

「うまいものだからこそ安く食べてもらいたい」これが〝きゃんどる〟の武田健さんの哲学。そこでお目見えしたのが、スイス料理オイルフォンデュー。サラダ付でたっぷり楽しめて、しかも値段は千円。他の店ではチョット真似のできないことも〝きゃんどる〟だからできるのです。

電話三三一―一一八三

★中西信機・孝子さんはなやかに結婚披露

十月十日生田神社会館で中西信機さんと孝子さん（花柳勢津孝・クラブ小万のお嬢さん）がめでたくご結婚。はなやかな披露宴が、四階ホールで一八〇人の招待客を集めて開かれた。

当日のアトラクションが豪華で、先斗町の芸者衆の鏡獅子を序曲に、愛の灯をつけた二人を祝って、熱海博多、花隈、福原のきれいどころがご祝儀の踊り。フレッシュマンの演奏で、藤田まことや、永田克子が唄い、林家染五郎が落語を語るという堂ぎったもの。孝子さんのにこやかな美しさが印象的だった。

オメデトウ！

●神戸うまいもんとドリンキング

★ステーキハウス れんが亭

生田区下山手通二丁目三四
電話三二一―七一六八

〝神戸〟といえば〝ビーフステーキ〟といわれるほど神戸肉の味は抜群。

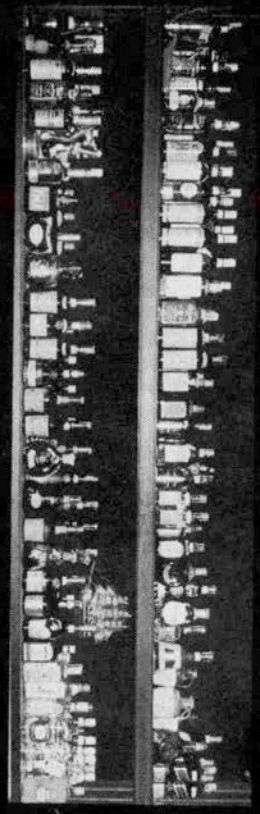
れんが亭のビーフステーキ

その中でもトアロードの東側にある重厚なレンガ造りのステーキハウス〝れんが亭〟は気軽に味を楽しめる店。

カウンター式のテーブル席にすわると、選びぬかれた良質のビーフを目の前でおいしく焼いてくれるのが楽しい。

スタッフは女性ばかりという異色な店だが、それがかえって気さくな雰囲気をもち、自然と客足を引きつけている。一度は足をはこんでみたい店だ。

営業時間午前11時30分～夜9時
定休日第三日曜日



少なくなった〝本格派〟

ここに在り

★おしゃれをしたらサヴォイで飲もう！

カクテルラウンジ
TEL 331−2615
高架山側　テキの店北

SAVOY
サヴォイ

千里と御常連

グンと秋の気配が濃くなってきました。風も肌寒く感じられます。でも、千里のスペースはいつも春の和やかさ。今宵も第一勧銀山手支店の東支店長を囲んで楽しいひとときが始まります。

CHISATO

阪本　千里
生田・東門筋東新ビル地階
☎ (331) 4 7 3 0

●お酒の殿堂

アサヒビール特約代理店

酒類調味食品問屋

㊧ 神戸酒類販売株式会社

本店・生田区中山手通１丁目76
ＴＥＬ(078)321—0201(代表)
支店・西宮・垂水・兵庫

ブリリアント
音楽教室

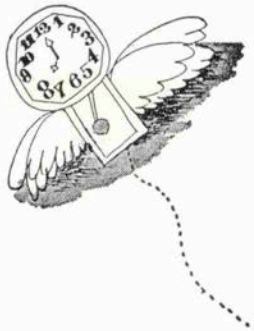
幼児から大人まで、巾広いレパートリーでレッスンするハモンドとピアノの音楽教室。

月曜日	ハモンド	午後１時
水曜日	ピアノ	〜
金曜日	ハモンド	６時迄

●神戸市生田区下山手通３丁目44
井上ビル ２Ｆ

ブリリアント音楽教室
TEL 078〈321〉0589

神戸百店会だより



★エスターニュートン「'73オータム・モード・コレクション」

トアロードにある服飾雑貨の店エスターニュートンが、九月二〇日オリエンタルホテルばらの間で「'73オータム・モード・コレクション」を開きました。

コートを中心にワンピース、スーツが四〇点紹介され、特にフランコベルトーリ社のまっ赤なリバーシブル半袖コート（17万円、神戸っ子9月号掲載）が注目されました。どの作品も布地とデザイン、仕立てがよく考えられており、本格的なヨーロッパ調の作品をそろえた充実したショーでした。

注目を集めたまっ赤なコート

★札幌に「ウネ」が新しく第三店を開設

元町一番街にある紳士服飾の店ウネが、十月五日さっぽろ東急百貨店内に札幌店をオープン。神戸店、東京店に続いて札幌にできたことは、神戸ファッション拡大のためにも喜ばしいニュース。新住所は次の通りです。

札幌市中央区北四条西二丁目、さっぽろ東急百貨店三階、TEL（011）212・2403

★「ヒロタ」のパリ店がオープン！

シュークリームで有名なヒロタが、十月一日パリの凱旋門のすぐそばに、パリ店をオープンしました。従来の洋菓子はもちろんのこと和菓子も扱っています。桜餅や月見団子などの季節の和菓子が、遠い外国で食べられるとはうれしいですね。「日本から店員を派遣しておりますので、日本語がもちろん通じます」というお店の人の話です。

★生田神社会館に店開き

第60回神宮式年遷宮記念として九月十二日オープンしたばかりの宗教と文化の殿堂――生田神社会館に、結婚式や披露宴関係のお店が店開きをしました。

オリエンタルホテル（京町二五）、美容室エリザベス（三宮神社前）、ボンヌール写真室（生田神社前）、つるや衣裳店（大丸前）、中川衣裳店（センター街）の各店です。

「皆様のお役に立ちますようはりきっておりますので、せいぜいご利用下さいませ」という関係者のメッセージです。

★10月4日「風月堂」北浜店オープン！

創業以来80年の古い老舗神戸風月堂が、10月4日北浜店〈大阪市東区北浜2丁目94、TEL06（202）5133〉をオープンしました。1F菓子売場、2F喫茶室で、大阪で神戸の味が楽しめます。

●ショップトピックス

★神戸の洋菓子の老舗**ユーハイム**が本社社屋を国道沿いに増築移転しました。そのため電話の局番と番号が、十月四日より（078）811―1212（大代表）と変わります。

★元町一番街の**元町画廊**で十一月二十日から十二月二日まで「第4回具象人間五人展」が開かれます。メンバーは鴨居玲、中西勝、西村功、松本宏、河野通紀の五氏で、十月初めに中西さんがモロッコから帰国、十月末には鴨居さんがスペインから帰国されたので、今年は久々に全員の顔がそろいます。帰国後初の作品展示となるわけで今回も力作が期待されます。

★神戸国際会館1Fにある高級毛皮専門店**ベニー**の化粧品部が、十月六日より装いも新たにして〝パラエティショップベニー〟としてオープンしました。従来通りの化粧品の外に、しゃれた船来婦人服飾、ギフト商品などが目新しく取り揃えられ、夢のある楽しいお店です。

また、十月六日から十六日にベニー毛皮店では〝'73～'74世界の毛皮展示即売会〟がありました。六日と七日の両日はモデルがお客様の希望品を着用してみせてくれたりして和気あいあいの展示会となりました。ヤングレディにはパリ製のカラフルなスエードムートンやカナダ製のレザーコートが人気を集めていました。

★今年の秋・冬は深味のあるブラウンやグリーンそして黒が基調のファッションです。そんなファッションによく似合うアクセサリーとして人気を集めているのが、ベっ甲のリングやブレスレット。元町一番街にあるベっ甲の専門店**太田べっ甲**には国産からイタリー製まで、品数豊富にとりそろえられています。指輪――五百円から三千円まで（珊瑚と組み合せのものもあり）、ブレスレット――千五百円から一万円まで、イアリング――八五〇円から五千円まで

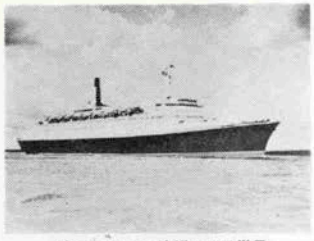
ポケットジャーナル

★〝クイーン・エリザベス二世号〟50年春神戸へ

世界一の〝格調〟と、〝豪華さ〟を誇る英国の海の女王「クイーン・エリザベス二世号」（六五、八六三トン）が五〇年春に神戸、横浜両港にやってくる。

エ号は一九六九年、英国のキュナードライン社が約三百億円で建造した客船で、現在、ニューヨーク――サザンプトン（英国）間に定期就航しているが、今度初めて世界一周航海に乗り出しわが国にも寄港することになった。計画ではエ号は五〇年一月四日に母港のサザンプトンを出港し、ニューヨーク、リオデジャネイロ、ケープタウン、シンガポール、香港を経て三月五日朝に神戸港に入港、翌六日夜出港して七日午後横浜に入る。同港に四日間滞在した後、ホノルル、ロサンゼルス、ニューヨークを経て四月六日サザンプトンに帰る予定で、九二日間に世界の主要二八港を訪問する。

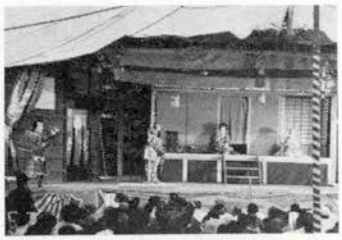
船賃もクルーズ船では超一流で九二日間でシングルの部が二百十万円――三百二十五万円、ダブルが百四十五万円―五百九十五万円（一人当り）。特に今度のクルーズのために設けられた「トラファールガー」「クイーン・アン」と呼ぶ特別室（ダブル）は二千五百万円で一日当たり、二十七万円の勘定となる。日本でも早くも十数組が予約済で、今からエ号の来港を待ちかねている。



クィーン・エリザベスⅡ世号

★〝待ってました！〟播州歌舞伎華やかに再現

三百年の伝統を誇る播州歌舞伎や農村歌舞伎舞台を残しながら、昭和になってすっかり忘れられていた播州の村芝居が九月十五日夜国の重要民俗資料になっている神戸市北区山田町下谷上の農村歌舞伎舞台で上演された。出演した播州歌舞伎保存会の嵐獅山一座は、江戸時代に西日本一の地方歌舞伎といわれた「高室芝居」の流れをくむもので、旅芝居の桧舞台・農村舞台に立ったのは四十三年に下谷上の舞台が国から文化財指定を受けた時の記念公演以来五年ぶりのこと。



嵐獅山一座による播州歌舞伎

公演は地方歌舞伎の習慣通り「寿式三番叟」で幕を開け、播州歌舞伎の十八番「絵本太功記」や「仮名手本忠臣蔵」を上演、十六日には通し狂言の播州歌舞伎の伝承通り「加賀見山錦絵」を上演のあと「一谷嫩軍記」で幕を閉じた。

誕生日ありがとう運動

★信楽の里をたずねて――一般募集の施設見学会――

「障害者と共に生きる」あたたかいコミュニティの信楽の里をたずねます。貸切バスで車中は講師を中心に福祉の学習をしながら、秋深まる信楽をみなさんと共に訪問したいと思います。どんどんご参加ください。

日時　十一月二十五日（日）
見学地　信楽青年寮、信楽学園、精神薄弱者民間下宿など
共催　神戸新聞厚生事業団
会費　一般千五百円、中高生千円（昼食各自持参のこと）
定員　百名（満席になり次第締切）
講師　池田太郎（信楽青年寮長）
　　桧前敏彦（中央児童福祉審議会委員）
　　橋本明（神戸っ子編集部「世界の福祉施設」著者）
集合　神戸新聞会館正面入口
　　午前八時三〇分（時刻厳守）
　　小雨決行、帰着午後六時）
バス　山陽交通貸切バス二台
申込先　誕生日ありがとう運動
申込方法　①氏名　②住所（連絡電話）③性別　④職業を記入して　⑤会費を添えて現金書留で送ってください。一度受付けた費用はお返しできません。

★誕生日ありがとう運動とは

精神薄弱児問題の啓発運動です。誕生日のお祝の中から意識的に百円節約して献金する。各家庭でこの問題について話し合う機会をもつ。

このことを手がかりとして、わたしたちすべてが精神薄弱児（者）をあたたかく包む雰囲気を広げる同時に、ひとりひとりのかけがえのない生命について思いをめぐらせ、年に一度の誕生日を有意義にしようという運動です。

誕生日ありがとう運動本部
神戸市葺合区御幸通八の九の一
神戸国際会館一階（郵便局の前）
電話二五一―八一六一内線三一六

観客は定員の三百五十人をはるかに上回る約八百人がつめかけ、木戸では昔ながらに「花」を受け付け「御花」のはり出しがズラリと並んだ。マス席はお年寄りがほとんどで、「ヨウ、待ってました」の掛け声に役者も大見得。久しぶりに土のにおいをたっぷり盛りこんだ楽しい芝居が夜遅くまで続いた。

★48年度兵庫県スポーツ賞受賞者決まる！

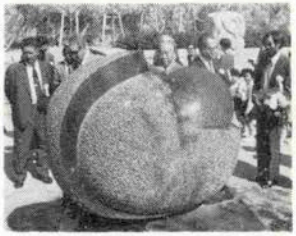
スポーツを通じ地域住民に対する社会体育の指導、後進の育成、スポーツを通じた明かるいコミュニティづくりなどに功績のあった人に兵庫県から送られるスポーツ賞の受賞者が決定した。

受賞者は県卓球協会理事長として活躍、県民スポーツの振興と健康、体力づくりに努めたとして垂水区の澤田敏夫さんはじめ、姫路市の市体育協会長北野熊三さん、第八回世界桑道選手権者南喜陽さん、尼崎市の県立スポーツ会館長常松喬さん、団体は明舞、多聞台団地など九団地、千三百人から成る垂水区団地スポーツ協会の皆さん。十一月三日文化の日に文化賞、科学賞、社会賞とともに表彰される。

垂水区団地スポーツ協会

★石彫シンポジウム
甲山森林公園に完成

県政一〇〇年を記念してつくられた甲山森林公園に、文化的な魅力をそえようとして、兵庫県が石彫シンポジウムを企画。一九七三年七月から三カ月間、全国でも珍しい大理石による彫刻作品が、兵庫県彫刻家連盟会員のうち有志十四名が参加して、炎天下、公園の広場で公開制作、十月九日に完成披露された。



完成した甲山森林公園石彫シンポジウム

こんもりと美しい甲山のグリーンラインの中央ふもとに白くはえる「愛」の像（新谷秀雄作）。噴水をこえて、十四名の力作が道の両サイドを飾って、彫刻のアーテスティックな道となった。

★「神戸の雑誌資料センター」一般に開放

神戸を中心に兵庫県下にわたって刊行されている雑誌、同人誌（小説・詩）戦後のもの九二誌、一五〇四冊を収蔵した「神戸の雑誌資料センター」が十月の読書週間から一般市民に開放された。このセンターは市民同友会が設置したもので、刊行と同時に廃棄されることの多い雑誌を整理保存して、市民に貸出しすることを目的としたもの。

不定期に刊行されることの多い同人誌は完全に集めることが難しく、また雑誌の体裁がまちまちだったりすることもあって、雑誌の整理は辛棒強い作業が必要とされ容易なことではない。市民同友会では現在収蔵したものを足がかりとして、より充実したものへ収集作業を重ねていきたいといっており、市民の皆さんにも欠落している号数や揃っていない雑誌について献本寄贈を呼びかけている。

市民同友会、神戸の雑誌資料センターは、葺合区小野柄通五丁目十三北村ビル TEL・二三一・三二五一

美術ガイド

★兵庫県立近代美術館
ジャコメッティ展 10／20～11／25

★白鶴美術館
中国古代青銅器展 10／20～11／25

★南蛮美術館
南蛮美術展 11／1～11／25

★大丸百貨店四階画廊
家永岳彦水彩画展 11／1～11／5
形真展 11／8～11／13
水越松南個展 11／15～11／20
今井政之・坂倉新兵衛・藤原建 11／22～11／27
陶芸三人展 11／22～11／27

★そごう百貨店六階画廊
鍛治昇登油絵展 11／2～11／7
岩崎陶春作陶展 11／9～11／14
奥村隼人油絵展 11／16～11／21
小西平内陶芸展 11／23～11／28

★さんちか広場
'74関西・中部私立大学展 11／1～11／4
さんちか税のサービスセンター 11／6～11／8
印刷展 11／10～11／13
エマウス・バザー（エマウス友の会） 11／15～11／20
神戸市勤労者美術展 11／22～11／27
さんちかビューティ・フェスタ 11／29～12／4

★さんちかギャラリー
川西祐三郎版画展 11／1～11／6
偶人社人形展 11／10～11／13
エマウス友の会・海外活動紹介 11／15～11／20
写真展 11／22～11／27
神戸市勤労者美術展 11／29～12／4
垂美会展 11／22～12／11

★KCCギャラリー
神戸新聞美術クラブ展 11／5～11／11
前川正志写真展 11／12～11／18
杉原晋水書展 11／19～11／25
神戸女子薬科大学書道部学外展 11／26～12／2

★安田画廊
佐藤輝治個展 11／7～11／4
梶田幸恵個展 11／20～11／25
西村鉄男個展 11／27～12／2
油絵四人展 11／27～12／2

★新光ギャラリー
COCE展 10／27～11／2
松野邦夫パステル作品展 11／3～11／9
海事検定美術部展 11／10～11／16
兼平峯生個展 11／17～11／23
サロン・ダルジャンジュエリー展 11／24～11／30

★ミニ中継車が元町で神戸ファッションを隠し取り

街を行く人をカメラがねらう

朝日放送午後のワイドショー「プラスα」、九月十一日放映の「街かどのファッション」をごらんになりましたか。

番組ではファッションの最先端をゆく街神戸の元町通りで、小型カメラ二台が街を行く神戸レディの姿を追った。これは「あなたは見られている」シリーズ第二日、先頃ABCで開発された乗用車なみの小型中継車と、16ミリカメラを思わせる世界最小のハンディカメラの特徴をフルに生かそうと企画されたイタズラ番組。中継現場とスタジオを結ぶ二元放送で、街では吾妻ひな子さんがインタビューをした。

スタジオのうらべまことさんらが街のファッションを批評。「やはり洗練されています。とくにヤングミセスから中年、老年のご婦人のファッション若々しくてよい」というのがうらべさんの神戸ファッション評。

花時計

★ファッションと文化

最近、神戸ではファッション都市をめざしてのいろいろなプロジェクトが進められている。

そして、それぞれに一応の成果があげられており、評価されていいと思われる。このプロジェクトは神戸市や神戸商工会議所とファッション業界、それに地元の神戸新聞社などの共同で展開されている。ひとつはファッション市民大学で神戸に現代のファッション界のエース格の講師を網羅、熱っぽい雰囲気で大学講座が進められている。また、先日は神戸ファッションフェアと銘うって、地元業界、クリエイターが中心になり豪華なショーが催された。

それぞれに問題はなくはないが、いきなり全面的に大きな収獲を期待すべきものでもない。

だが、これらのプロジェクトをとおして、神戸がファッション都市のイメージを全国的に拡げたことは確かである。しかし、文化はそんなに簡単に創造されるものではない。市民大学の第一日目の講師鯨岡阿美子氏はピシリとこの点を指定している。ファッション都市神戸、言うは易いがそんなにあっさり実現されるものではないと——新しがり屋の神戸っ子にとって大きな試練でもある。

★群青社

「第14回日本画展」

菖蒲大悦氏が主宰する群青社の第14回日本画展が、九月二十五日から三十日まで県民会館二階大ホールで開かれた。

約八〇余点の作品が展示され、20号や30号の大きい作品が目立つ。高校生から八十余歳の老人まで、医師、会社員、教師や家庭の主婦という多彩なメンバーが余暇を利用して描いたというだけに、作品はのびのびと自由に表現されていた。

群青社事務所——神戸市北区鈴蘭台北町2丁目4の15、菖蒲大悦方、TEL（五九一）〇二六二

KOBE POST

★画家の**中西勝夫妻**は、十月初旬モロッコに五カ月滞在して帰神。十二月四日～十二月十四日迄梅田画廊三人展を開かれます。また、目下新居の建築中、十二月中旬に鴨子ケ原にお目見得するとか。

画家の**鴨居玲**さんも十月二十五日に、スペインより帰神されるそうです。

★画家の**白髪一雄**さんが、東京画廊で、十二年間の作品からと題した個展を、十月一日～九日（一九六一～六四制作）十月十一日～二七日（一九七三制作）に開かれました。

★長崎といえば丸山、丸山といえば引田屋花月とうたわれた花月楼その第十七世の**山口雅生**さん（神戸市灘区深田町3ノ1ノ23六甲荘内☎〇七八）八五一一九四二二）が、四三年に「長崎丸山花月記」を出版。このほど続編の「廓の娘」（定価三九〇〇円送料三〇〇円）が山口さんの執筆で発刊された。白鶴美術館の十カ年が内容に加っている。

★**甲南興産株式会社**（甲南マンションセンター部）が、8月27日より、神戸市生田区中町通一丁目十四甲南第一ビル2F（神戸駅前）に移転しました。☎（〇七八）三四一—六四三一（代表）

★腹話術と司会で活躍する**竹村まこと**さんが、九月二十三日山陽長田ビルディングの六階に「**愛デアセンター（株）サン・ドリーム**」の事務所開きをされました。

新しい時代感覚でと録音装置、スピーディなコピー装置などをそなえて幅広い活躍が期待されます。

元祖 元気焼き

おいしさが
口いっぱいに
ひろがる……
本場の味

ばたなち

■三宮センター街柳筋店
TEL 321—3446・331—0572
■新開地店
TEL 576—1191
■平野店（平野市場内）
TEL 361—0821
■三宮センター街サンプラザビルB1
TEL 391—3793

スイス料理、オイルフォンデュー
をはじめました
よろしく！

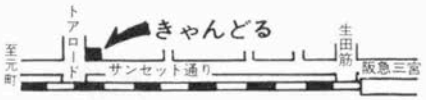
サラダ付
￥1,000

サラダ (ヘレ肉) 付	スープ サラダ パン ワイン (マチーズ)付
￥1,500	￥1,500

バーベキューもよろしく

サラダ付
￥850

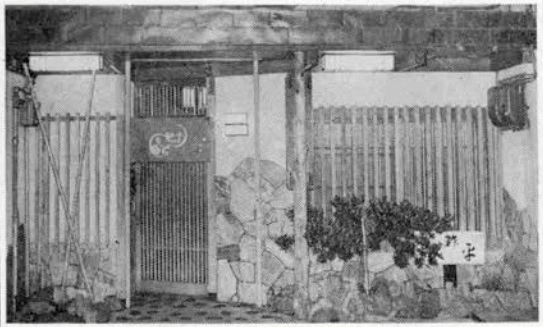
ランチ ￥250



きゃんどる

神戸市生田区北長狭通2—22 ☎ 331—1183

平又の鮪



神戸三宮生田ノ社ノ西　電話(331)0935

おすし
てんぷら
榮彌

本店　大丸前・三宮神社東
TEL(331)5772
5673～4
(毎週水曜日休み)

支店　さんちか味ののれん街
TEL(391)5233
(第3水曜日休み)

営業時間
A.M.11.30～P.M.9.00

AUTUMN KOBE SHOPPING

やっぱりうまい
むさしのとんかつ
トンカツ
コーベ三宮ムサシ
でんわ・331―三七七一
321―〇六三四
321―〇六三五

ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

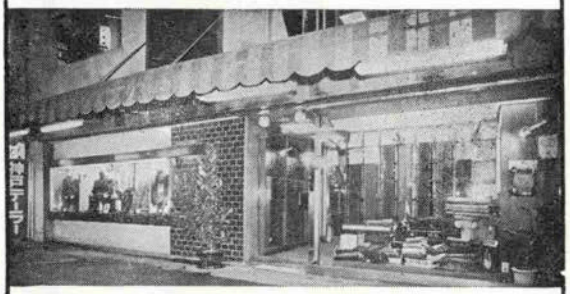
三恵洋服店

元町4丁目　TEL(341)7290

おもちゃの
カメヤ

三宮方面でのお買物は…
さんちか店　ファミリータウン　(391)4045
三宮店　センター街(改装のため休業中)
元町方面でのお買物は…
元町店　元町通3丁目山側　(331)0090
パンプウ店　元町通一丁目不二家前　(391)0768

高級紳士服専門店
神戸テーラー



さんちかメンズタウン　TEL(391)0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL(331)2817・3173

AUTUMN KOBE SHOPPING

味覚の秋
おいしいものを食べた
充実感が味わえる

二つ茶屋
とんかつ一番

神戸市生田区元町通1丁目24
TEL 神戸078(331)0755(代)

太田鼈甲店

べっ甲美術品とアクセサリーの専門店
太田鼈甲店
元町1丁目　TEL(331)6195